

常磐小学校の再編についての意見交換会 結果概要  
(区長対象)

- 開催日：令和5年10月19日(木)午後7時6分～8時
- 場 所：越前町生涯学習センター
- 参加者：区長6名
- 内 容：常磐小学校区保護者アンケート、保護者対象意見交換会の結果について

**主な意見と回答**

(参加者) 区の役員会では、学校再編は地域で決めること、糸生小との3校同時再編のこと、反対に早く進めたほうがよいなど、いろいろ話が出ているように地域の中でも意見は割れている。区長で勝手に決めたという話も困るので、経過については報告するよう伝えている。今日の資料を町広報に折り込めるとありがたい。

(参加者) 資料は地元説明会の時でよいのではないか。

(教委) 糸生小との話では、常磐小と一緒に出来るならそれはそれでよいとの意見もあったが、令和11年から5年間前倒しすることは難しい意見もあった。常磐小に待ってもらうことも申し訳ないので、先に進めてもらえればということや、常磐小の保護者の中にも待てないという方もいるので、3校同時再編は難しいと考えた。今後、地区の方々に説明をさせていただきたいと思っており、資料の内容もお話ししなければならない内容なので対応はできると思う。

⇒(参加者) 説明会に行く行かないは本人の自由だが、全戸配布していただけないか。

(参加者) 説明会はいつ頃予定しているのか。

⇒(教委) 保護者の皆さんからは早くと言われている。一番早くて11月の広報での周知だと考えているが、よろしければそれでやりたいと思う。

(参加者) それでお願いしたい。

(参加者) 急ぐ理由がよくわからない。令和6年4月に朝日小へ移っても良いという話があるからではないのか。

⇒(教委) 最初から申しているが、慌てるというよりも、再編するにあたり準備期間を要することになるので、準備委員会での検討を始めたいという思いである。保護者の方もそれを望んでいる。

⇒(参加者) 朝日小へ移るといって保護者がいると聞いている中で、保護者の中に不協和音が起きている。

(参加者) 説明会の案内には、令和 7 年 4 月再編という文字は入れるのか。入れるのであれば皆さんそれを念頭に出席されると思う。

⇒ (教委) 検討したい。

(参加者) 保護者アンケートを行ったことについてはありがたい。私の区では保護者だけで進んでいることへの疑問が強く、なぜ意見を聞いてくれないのかというところで終止している。令和 7 年と書いてしまうと誰も参加しないかもしれない。

(参加者) みんな聞いているのではないか。

(参加者) 統合することはみんな知っている。

(参加者) 保護者の意見はわかるが、このまま進めば後味の悪い結果になってしまうのではと心配している。どうして欲しいとは言わないが、今まで常磐小を支えてきた地域の意見はどうなるのか残念な気持ちだ。

⇒ (教委) まずは保護者の意見を第一にということでのこのような形となった。前回の区長会でも保護者の意見をまとめて欲しいと言われ、様々な意見がある中でもご同意はいただいた。この 2 年間意見交換を行ってきたが、進め方が悪くご心配をおかけしたことはお詫びし、地元説明会に来ていただいて皆さんの前でお願いしたいと考えている。

(参加者) 令和 7 年は揺るがないと思うが、最終的な決定を言わないといつまでも説明会と意見を聞いての繰り返しだと、どの方向に向かっているのか曖昧な感じがする。

⇒ (教委) おそらく今度の説明会が最後だと思う。皆さんの意見を聞いた上で、再編準備に向けて進めたいとお伝えしたい。

(参加者) やはり地域の問題となることを保護者だけで決めているのは不信感が拭えない。

(参加者) 小学校なのだから児童がいなければなら仕方ないのでは。

(参加者) 強制的に廃校にするのなら、一人でも常磐小で学びたいという人はどうするのか。教育的見地から言うとおかしい。

⇒ (教委) 離島など交通不便地帯と言うならば残さざるを得ないと思うが、10 分程度で行ける状況では申し訳ないが難しいと思う。

⇒ (参加者) 再編は駄目だと言っている訳ではないが、そのような意見がある。地域の核となる 小学校がなくなることは、個人的には小学校は残すべきだと考えている。高齢化、少子化が加速するので、地域コミュニティを醸成し維持できるものがないと地域が成り立たず衰退していく。結局は 越前町が小さくなっていくのでは。

(参加者) それは地域で考えなければならぬ。町だけに頼るのではなく常磐地区で知恵を絞らなければならぬ。

(参加者) そのためには小学校が核となっていたということだ。

(参加者) それを言い出すとまた振り出しに戻ってしまう。

(参加者) 再編したら駄目だとか、学校を残せとか言っているわけではない。

(参加者) その意見はもう終わりにしないといけない。小学校はなくなるのだからそれを考えなければならぬ。小学校のない地域でもちゃんとしている地域はいくらでもある。私はその都度区民に説明している。

(参加者) 懸念しているのは、その意見がまた地元説明会でも出る可能性があるからだ。その意見は地区で説得しなければならない。そのために今日のような会議を開いているのではないか。区長が認めたら先に進まなければならない。

(参加者) それは無理だ。地域の人と温度差が違う。

(参加者) 再編の時期は別として再編に反対している人はいない。その中でも先ほどと同じような意見は出ると思う。

(参加者) 再編時期を決めないと皆不安になる。区長が令和 7 年の時期を伝えるべきだ。区長が言うから区民も一緒になって言い出すのではないか。

(参加者) 教育委員会はその通り説明していただければよいだろう。はっきり時期を示してその意見を聞いてもらえばよい。意見は出るだろうが。

(参加者) 自分の意見は出してもらわなければならない。

(参加者) 今頃また同じような意見を出したらいつになっても決まらない。

(教委) 今日は、地元で説明会をさせて欲しいということでお集まりいただいた。教育委員会としてはっきり令和 7 年 4 月と期日をお示しした上で、お話をさせていただきたい。今後の準備期間もあるのでなるべく早く行きたいと思っている。

(参加者) 議会に対しての説明は逐一やっているのか。

⇒ (教委) 令和 3 年度から随時報告している。議会からは提言書に基づいて遅れることなく進めて欲しいと言われており、議会のご理解をいただきながら進めている。

⇒ (参加者) 町長からの指示はあるのか。令和 7 年 4 月再編で理解しているのか。

⇒ (教委) これまでの会議など全て報告しながら進めている。町長からもそれで進めて欲しいと言われているが、保護者の意見も大事であるので、地元の理解を得て欲しいと言われている。

(教委) 先ほど今日の資料を広報に折り込んで欲しいと言われたが。

⇒ (参加者) 折り込みは日程だけのお知らせでよいのではないか。

(参加者) はっきり教育委員会の方針を打ち出さなければならない。

(参加者) ある程度こういう話がありましたと区民には伝えなければならない。

(参加者) お伝えはしているが、発言するなどは言えない。

(教委) 意見を抑えるわけにはいかない。教育委員会としてはこういう方向性で説明させていただきたい。

(参加者) 了承。